

第 33 回三遠南信サミット 2025 in 南信州

第 3 分科会 報告書

1. タイトル

地域の魅力を創る広域リージョン連携

2. 概要

多様な地域資源を生かした観光誘客は、関係人口の創出につながり、地域の持続的な維持・発展に寄与する一方、人口減少に伴い、民俗芸能などの文化の担い手や飲食・宿泊業の人手不足が深刻化している。地域の魅力を高め、広域での周遊観光、DX 活用などによる、地域の持続的な維持・発展につながる観光の取組について意見交換を行った。

3. 日時

令和 7 年 10 月 6 日（月） 午後 1 時 00 分から午後 2 時 30 分

4. 会場

飯田文化会館（展示室）

5. 登壇者一覧

No.	所属	役職	氏名	役割
1	一般社団法人ほの国東三河 観光ビューロー	マーケティング ディレクター	田中 三文	コーディネーター・ 事例紹介者
2	豊川市	市長	竹本 幸夫	発言者
3	新城市	市長	下江 洋行	発言者
4	浜松市	市長	中野 祐介	発言者
5	中川村	村長	宮下 健彦	発言者
6	阿智村	村長	熊谷 秀樹	発言者
7	下條村	村長	金田 憲治	発言者
8	売木村	村長	清水 秀樹	発言者
9	大鹿村	村長	熊谷 英俊	発言者
10	豊川商工会議所	会頭	小野 喜明	発言者
11	御津町商工会	会長	竹内 幹尚	発言者
12	湖西市商工会	会長	佐原 功一郎	発言者
13	駒ヶ根商工会議所	会頭	福澤 秀宏	発言者
14	NPO 法人てほへ	副理事長	富田 達郎	発言者
15	遠山ふじ糸伝承の会	企画講師	木下 美奈子	発言者

6.議論内容

(1) 概要説明 (13:00~13:07)

(2) 事例紹介① (13:08~13:15)

事例紹介者：ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター 田中 三文氏
「観光業の人材不足の解決に向けた関係人口の創出について」

概要：奥三河地域における地域おこし協力隊の活動として、協力隊卒業後も継続的に事業を展開することで地域の重要な担い手として定着し、これらの担い手同士のネットワーク形成が地域全体に波及効果をもたらすことで、移住者の受け入れや移住者による新たな事業展開につながる好循環を生み出している事例を紹介いただいた。

(3) 発言者による議論① (13:16~13:40)

観光業の人手不足の解決に向けて DX の活用、関係人口の創出、外国人材の受入れ等の取り組みについて

(4) 事例紹介② (13:41~13:48)

事例紹介者：ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター 田中 三文氏
「周遊観光をはじめとした他地域との連携による観光振興の取り組みについて」

概要：国道 23 号全通を契機とした地域間観光連携として、西三河、東三河、遠州地域を結んだ観光マップの作成、スタンプラリーの実施、物産展の開催について紹介いただいた。また、三遠南信・伊勢志摩広域連携による中部国際空港を核としたインバウンド誘致における広域リージョン連携の取り組みを紹介いただいた。

(5) 発言者による議論② (13:49~14:10)

周遊観光をはじめとした他地域との連携による地域の魅力を高める観光振興に関する取り組みについて

(6) 議論のまとめ (14:11~14:20)

7.まとめ

観光人材の人手不足の解決に向けての取り組みの主な意見として、次のことが挙げられた。

①地域内外の企業、団体、個人の参加・協力により、関係人口を創出するきっかけが必要であること。②観光業は繁閑差がある中で、短期求人等の人材を獲得する手法や工夫が必要であること。③学校交流、留学、企業研修等をきっかけに外国人材の活用につなげること。

他地域との連携による地域の魅力を高める観光振興の取り組みの主な意見として、次のことが挙げられた。①テーマを絞り、各地域の魅力をわかりやすく伝えることでブランド力が高まること。②近接地の連携や小さな連携を積み重ねることで広域連携につなげていくこと。

③関係を構築することで、数年先を見据えた連携事業を進めていく必要があること。

三遠南信地域が一体となり、多様な主体の連携のもと、観光誘客と関係人口を創出することで、観光産業の人材確保や地域の持続的な維持・発展につながるとの結論を得た。

8.当日の様子

